

「開国博Y150」公式記念品ショップがオープンします！

横浜開港150周年マスターライセンスオフィスとして、伊藤忠商事株式会社が横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター「たねまる」のキャラクターや、「開国博Y150」関連のマークを使用した商品化など、商標権、著作権の再許諾ライセンス供与業務を行っております。
このたび「開国博Y150」の開催にあたり、有料会場内・周遊会場内で「公式記念品ショップ」3店舗をオープンすることになりましたので、その概要についてお知らせいたします。

【公式記念品ショップ概要】

周遊会場内・・・赤レンガ広場店（ベイサイドエリア 赤レンガ会場(広場)内）
（営業期間）4月28日～9月27日 10:00～22:00（店舗面積）480㎡

有料会場内・・・Y150はじまりの森店（ベイサイドエリア Y150はじまりの森 内）
（営業期間）4月28日～9月27日 10:00～22:00（店舗面積）180㎡

Y150つながりの森店（ヒルサイドエリア Y150つながりの森 内）
（営業期間）7月4日～9月27日 9:30～17:30（店舗面積）200㎡
・8月の毎週土・日曜日および9月19日～27日 9:30～20:30
・Y150つながりの森店は飲食店も併設

【開国博Y150】のテーマである「出航」をベースに、「横浜」で開催される博覧会にふさわしい「公式記念品ショップ」をめざします。

また、期間中500万人の来場予想客数(有料会場のみ)に対し、3店舗総売場面積合計約860㎡にて約1,500品目(2,200品種)の商品アイテム(ピンズバッジ、携帯関連雑貨、文房具、衣料品、生活雑貨、ぬいぐるみ、菓子類など)を取り扱い、約30億円の売上をめざします。

【運営体制につきまして】

「公式記念品ショップ」3店舗については、株式会社近鉄百貨店、中日本航空株式会社が販売実務を担当し、横浜開港150周年マスターライセンスオフィス(伊藤忠商事株式会社)との3社で販売運営・管理を実施する予定です。

【公式記念品ショップの特徴】

① 開催地である「横浜」を意識した店舗づくり、商品構成

開国の街「横浜」の船や港を意識した店舗設計とし、「横浜」の数々のユニークな著名景観を取り入れたデザインによる商品を企画するなど、「横浜ならではの」印象に残る商品構成を展開します。

② キャラクター商品を中心に「環境配慮商品」「コラボレーション商品」「横浜関連グッズ」「開国博Y150タイアップ商品」などの商品群による幅広い品揃え

横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター「たねまる」をモチーフとした「キャラクター商品」に加え、「環境負荷の少ない環境配慮商品(=「たねまるグリーンレーベル」)」「著名キャラクターとのコラボレーション商品」「地域発信型の横浜関連商品」「『開国博Y150』とのタイアップ商品」などの様々な商品群を展開します。

また、会期中企画の第一弾として「たねまるガールズライン(=「たねまるピンクレーベル」)を加え、バラエティー豊かな品揃えによりお客さまにお楽しみいただきます。

③ 新キャラクター「ペリー・テイトくん」も登場！

有料会場内・公式記念品ショップのマスコットキャラクターとして、新たに「ペリー・テイトくん」が登場するとともに、商品も販売いたします。「ペリー・テイトくん」は有料会場のみキャラクターとなります(有料会場以外の店舗では販売いたしません)。

④ 博覧会事業の実績経験を背景としたクオリティーの高い接客対応

マスターライセンスオフィスを運営している伊藤忠商事は、2005年に開催された「愛・地球博」で「愛・地球博マスターライセンスオフィス」として同社のブランドビジネスで培ったノウハウを活かして同博覧会の盛り上げに貢献しており、今回も同様に伊藤忠グループによる公式記念品ショップ運営の経験、実績ノウハウをフルに活かし、「開国博Y150」を盛り上げていきます。

Y150関連商品
ブランドサイン



公式記念品ショップ
赤レンガ広場店
外観イメージパース



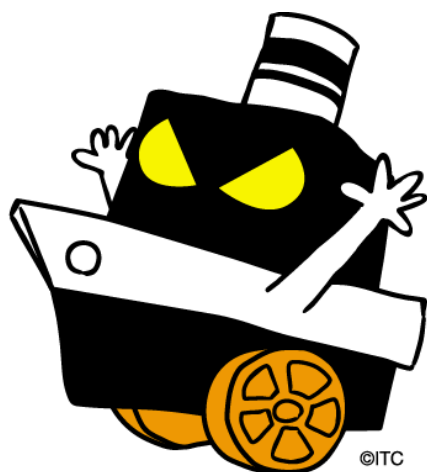
公式記念品ショップ
各ショップアイデンティティ



公式記念品ショップ
Y150はじまりの森店
店内イメージパース



「ペリー・テイトくん」
(Y150はじまりの森店・
Y150つながりの森店)



「たねまる」のライバル出現？

横浜が「開港150周年」ということを聞きつけ、
わざわざアメリカから駆けつけたらしい。

来航のねらいはY150を盛り上げたいのか、
「たねまる」へのジェラシーなのか、それとも
自分が売れたいだけなのか…？

ペリー✳️テイトくん
Perry✳️Tate-kun